



御庄小だより

令和6年 冬休み前号

岩国市立御庄小学校



一人一人が主役！成長著しい2学期でした。

一人ひとりに大きな成長が見られた2学期でした。環境整備作業から始まり、熟議、運動会、音楽会、チャレンジプロジェクトなど、多くの行事・活動がありましたが、児童のそばには、いつも保護者や地域の皆さんの優しい笑顔がありました。今年度の地域・保護者の方の教育活動への参加人数は、優に200人を超えています。温かな声かけや賞賛が子どもたちに自信や次の意欲をもたらしたことと思います。心から感謝申し上げます。

今年も大変お世話になりました。よいお年をお迎えください。

秋の御庄ツアーより



人権教育講演会 多様な性のかたちについて

11月26日の人権教育講演会では、下関南総合支援学校の今田真樹先生にご講演いただきました。「体の性別」「自認する性別」「好きになる性別」は一人ひとり違います。違ってよいのです。性的少数者は、国内でおよそ1000万人にもなるということです。講演の最後に好きな色で風船をぬりました。「好きなことも好きなものも好きな色も人それぞれ。互いを認め、大切にしていける社会であってほしい」・・・風船にはそんなメッセージが込められています。山口県では、今年9月から「パートナーシップ宣誓制度」が導入されました。子どもたちは真っ直ぐな目と心で新しいものを吸収していきます。大人も固定観念にとらわれることなく、人権感覚を磨いていかなければならないと思いを新たにしたところです。（下に児童の感想を抜粋して掲載しています。）

- 今田先生が言っていたことは、前にお母さんから少しだけ聞いていました。そのことを参考に話を聞いたので、前より納得がいて、もっといろんなことを知りたいと思いました。今田先生が言っていたことをお母さんにも教えたいと思います。
- 中学生の女の子の友達がいます。その友達は野球部に入りたかったそうです。だからもっとそういう人が暮らしやすいようになりたいと思いました。
- 性は自分の感情だと思いました。性はいろいろで、気が合う人もいれば、合わない人もいて、でも平等に話したり、遊んだりしようと思いました。この講演をきっかけに、自信ができました。
- 学習したことは、男性、女性関係なく、好きなように生きていったらいいということです。自分は女の子だけど、女の子を好きになっても恥ずかしがらず、隠さず生きていこうと思いました。
- 自分が好きなものは人に何を言われても好きでいていいということが分かりました。このお話を聞いて、もらったプリントやお話を両親に見せて、知ってもらえることができたと思います。
- 「好きな人がいなくても自分のタイミングで」というところが、まだ心に残っています。
- 男や女に縛られない多様な性の考えを持つ人が日本には1000万人近くいることに驚きました。それなのに見かけないのが不思議でしたが、性に関することをカミングアウトするのはすごく勇気があることだと分かりました。新たな発見がたくさんある講演でした。